

わろてんかい
笑てん会

加古川中央市民病院
がんサロン

2018年4月
第1号 発行

がん相談支援室発行

会報



加古川中央市民病院がんサロン「笑てん会（わろてんかい）」は、がん患者さんとその家族が、体験を語り合いお互いに癒される場をつくることを目的として平成29年7月に発足しました。「笑てん会」という会の名称は、がんになっても、自分らしく笑って生きようという意味が込められています。

勉強会の様子
交流会の様子

第8回のがんサロンは16名が参加し、がん放射線療法看護認定看護師より、「放射線治療あれこれ」というテーマでミニ勉強会を行いました。日ごろ関わるのが少ない放射線治療について皆で学びを深め、放射線治療だけでなく、重粒子線治療の知識も知ることが出来ました。第9回の開催では、がん化学療法看護認定看護師より「治療中の肌と爪のお手入れ」というテーマで勉強会を行いました。参加者は13名でした。抗がん剤治療をすると、肌や爪にダメージを受けやすくなります。なぜダメージを受けるのかというメカニズムや具体的な日常のお手入れの方法について勉強しました。

平成29年7月から開始となったがんサロンですが、3月で第9回目となり、徐々に顔見知りも出て、和気あいあいとした雰囲気でした。お互いに食事の工夫を話し合ったり、治療のしんどさを労ったり、時には患者の立場と家族の立場で日ごろ言えない気持ちや話を、どういふ風に接すれば良いか話し合ったりしました。高齢の参加者さんが一生懸命抗がん剤治療をしているところを見て、勇気をもらった、孤独じゃないんだと思つたという意見も出ています。初めて参加した方も、「早くこの会を知りたかった」と笑顔で話されていました。

編集後記

参加者の方々が笑顔で生き活きとお話しされていて、開催側としても嬉しかったです。今後もがん患者さんにご家族の癒しの場となるよう、毎月第3火曜日14時からきらりホールで開催します
がん相談支援室 和田

今後の勉強会開催予定

4/17	「世の中のがんの流れ」 講師：がん看護専門看護師
5/15	「食べられない時の食事の工夫」 講師：管理栄養士
6/19	「生活に役立つ制度」 講師：社会福祉士

